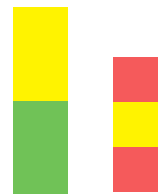
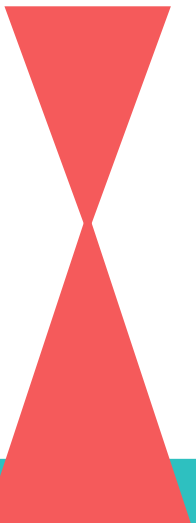
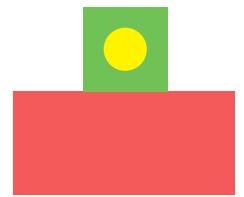
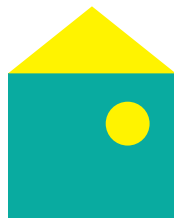
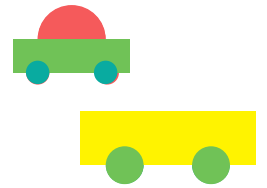
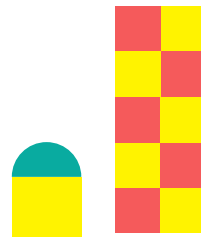
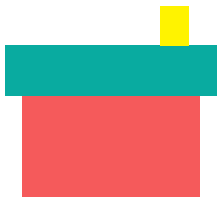


# まちのね

「まちのね」って？

地域を支える人たちの声や足音、  
まちづくりの音をお届けする  
活動レポートとして、  
「こうべソーシャルマガジン  
まちのね」は生まれました。

く 聞 音 ま  
る こ が ち  
。 え て の



- も  
く  
じ
- P.1-2 広がる「まちなか防災空地」の取り組み
  - P.3 活動人めぐり!
  - P.4 兵庫区内のまちづくり協議会が意見交換会を開催!
  - P.5 ソーシャルビジネスセミナー
  - P.6 神戸ソーシャルブリッジの秋からの活動



# 広がる「まちなか防災空地」の取り組み

神戸市では、防災性や住環境にさまざまな課題を抱える密集市街地4地区において、安全・安心・快適なまちづくりを推進するため、火事や地震などの災害時に延焼防止や地域の防災活動の場となる「まちなか防災空地」の整備をすすめています。

新しくオープン!

**灘中央市場協同組合**  
協力:空地有志の会

市場内で初!

平成31年3月24日、防災空地「みんなのひろば」のお披露目式を開催しました。来賓の市長を前に、ドキドキ。前日の準備は、まるで学校の文化祭の準備をしているような楽しさ。市場の人、市場が好きの人たちによる有志の会、みんなで協力して無事に終えることができました!

オープン早々、こどもたちが遊んだり、ピクニックに来てくれたりしています。大人も読書をしたりくつろいだりして楽しい時間を過ごしています!市場の中なので、BBQコンロと炭さえあれば、BBQを楽しむこともできます。好きな食材を欲しい分だけお店で注文でき、すぐに焼いて食べられます。とってもおいしいですよ。

密集市街地の改善を目的に始まった防災空地。コミュニティが豊かになったり、市場に人が来たりと良い効果もたくさん。みんなで楽しみながら、これからも活動していきます!



こんな使い方しています!

**庄田町3丁目**  
合田昌宏さん/塚越祐太さん

みんなで野菜づくり!

「子どもたちが土遊びができる場所を空き地と関連してつくりたい!」と、地域に声をかけ、菜園のある防災空地が完成しました。完成後しばらくして、野菜づくりを一度休憩していましたが、もう一度みんなが集まれる場にしたいと思い、草抜きと苗植えをみんなで行いました。菜園での苗植えは「r3小学校」という活動の一環として行いました。「r3小学校」は、「自分の行きたい学校をつくりたい」という子どもの声からできた活動です。まちの大人を先生に見立てて、楽しく学ぶことができます。

苗植えイベントでは、植える野菜の総選挙、苗植え、献立を考えてのランチパーティー、水やり当番表の作成など、子どもたちが率先して活動しています。野菜を収穫したら、その野菜をどうするのかも子どもたちが考える予定です。野菜ができたときの子どもたちの笑顔が楽しみです。

今後は、防災空地の空いているスペースに蝶が飛んでくる花壇をつくりたいです。



新しくオープン!

**わがまち平野協議会**  
会長 山本賢正さん

兵庫平野地区で初!

わがまち平野協議会は、活用部会、魅力部会および安全・安心部会という3つの部会で活動しています。このひとつである安全・安心部会では、まちなか防災空地の整備や細街路整備などによる災害に強いまちづくりを推進しています。実際にみんなでまちを歩きながら候補地を探し、平野地区で第1号となるまちなか防災空地を整備することができました!

新たなスタートという意味も込めて、お披露目式は令和元年5月1日に開催しました。土地所有者の方をはじめ、近隣住民や地域の子どもたちが集まり、輪投げなどで遊ぶ楽しい会になりました。この場所の存在を覚えてもらう良い機会になったと思います。

今後、この空地を防災や地域のコミュニティの場として活用し、同様の事例を地区内に少しずつ増やしていけたらと考えています!



こんな使い方しています!

**泉が丘北エリア  
安全・安心まちづくり委員会**  
会長 藤本由美子さん

使ってみようかまどベンチ

泉が丘5丁目のまちなか防災空地には、非常時などにかまどとして利用できる「かまどベンチ」が設置されています。

私たちは、月に1回、近くの公園で清掃活動を行っていて、集まった折にまちづくりについて話し合っています。「公園の利用者やまちづくりについて一緒に考えてくれる人を増やすために、いつもは利用していないかまどベンチを使ってみよう。」清掃活動の合間のそんな声から、今年の1月と3月に、かまどベンチを実際に使ってみることにしました。1月は組み立てに試行錯誤。3月は不要木材で火をおこしました。コーヒーを沸かしたり、焼き芋をつくらしたりして、楽しかったです!

今回の利用訓練を通して、普段からかまどベンチの存在を周知したり、使い方の確認を行ったりするとともに、地域住民の防災意識の向上やコミュニティの醸成を図っていくことが大切だと感じました。今後は、防災の訓練も兼ね、このような活動を続けていきたいです。

よりよいわがまちのために奮闘する「活動人(かつどうびと)」にインタビューする「活動人めぐり!」。まちづくり協議会やNPOなどで活躍する活動人に会いに行き、いきいきとした神戸のまちを支える活動やその思いを伺います。

## 夜間景観の魅力づくりを フラワーロードで

谷守正康さん  
フラワーロード沿道まちづくり協議会  
まちなみ部会



フラワーロード沿道まちづくり協議会で、夜間景観づくりに取り組む谷守正康さんにお話を伺いました。

### フラワーロードの特徴を教えてください。

フラワーロードという名前のとおり、やはり花や緑にあふれていることが一番の特徴だと思います。生田川が流れていた当時のまちの骨格を残しつつ、神戸の中心・三宮の南北を山から海までつなぐ神戸の「シンボルロード」として、そして全国からの玄関口である新神戸駅から三宮へつながる「ゲートウェイ」として広く知られていますよね。多くの人々が行き交う、にぎわいある通りにしていくことが目標です。

### 「まちのあかりのガイドライン」について教えてください。

フラワーロードは南北に長い通りのため、三ノ宮駅に近い南側は少しずつ夜間のにぎわいが現れてきたものの、北側はまだ夜間景観の面で魅力的とは言えませんでした。そこで、フラワーロードの「通り一体」における、より魅力的な夜間景観づくりに向け、協議会で平成29年度から勉強会や検討をしてきました。2年をかけて、住民や事業者みずから、守るべき光のルールや具体的な光の工夫をとりまとめた、「まちのあかりのガイドライン-Night scene guidelines on Kobe-city Flower-road-(草案)」をつくりました。

### フラワーロードではどのような夜間景観の取り組みを行っていますか?

これまでのフラワーロードは、昼間は緑や花があふれ、彫刻を楽しめる通りでした。一方、夜間は人通りが少なく、魅力が届いていませんでした。そこで「夜も歩きたくなる魅力的な通りにしよう」と、夜間に緑、花、彫刻を活かす街路のライトアップ整備が実施されました。また、夜間の都心を楽しむための仕掛けづくりとして、まち歩きやイベントの開催が可能なまちづくりを考えていこうとしています。

### ガイドラインのどのような点に力を入れていますか?

神戸市夜間景観形成実施計画の光のコンセプト「都心を貫くシンボリックな光の演出」を踏まえつつ、フラワーロード地域の歴史や特性を活かそうとしています。歴史をかんがみた流れを、夜間景観を通じてフラワーロードで表現できればと思います。

### 今後の夜間景観について、谷守さんの思いをお聞かせください。

フラワーロードのまち歩きを行ったり、ガイドラインの草案を策定したりと積極的に活動を行っています。これからは、各々の地域で夜間景観づくりに取り組むだけでなく、都心地域全体で連携して取り組んでいくことが必要だと思います。活動的ではない地域に声をかけながら、さまざまな提案や活動を行うことで、神戸の夜がより魅力的になっていくのではないかと思います。

兵庫区内のふれあいのまちづくり協議会が  
意見交換会を開催!

## 地域の新たな担い手を 発掘するアイデアが次々と!

2月25日(月)、兵庫区役所地下公会堂で、兵庫区内のふれあいのまちづくり協議会が意見交換会を行いました。集まったのは、16協議会の役員約20名。それぞれの協議会が抱えている課題や取り組みや工夫について情報交換しました!

### 意見交換会で課題を共有

ファシリテーターをつとめるのは、有限会社スタジオ・カタリストの松原さん。参加者の自己紹介から会が始まりました。各協議会が力を入れている取り組みと抱えている課題について報告があったところ、共通の課題が見えてきました。多くの協議会が、若い人や次の担い手が少ないことで悩んでいることが明らかに。そんな課題に対する取り組みやアイデアについて、さまざまな意見が飛び出し、議論が交わされました。



### idea 集まったアイデア

子ども向けのイベントを開催し、  
親世代と地域の接点をつくる

地域の学校と連携した  
イベントを企画する

地元学校の  
PTAとの  
関係をつくる

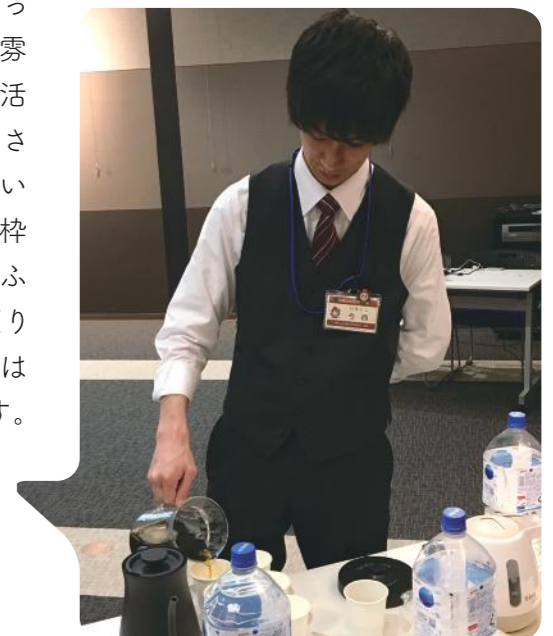
加入した  
若い人の意見を  
尊重する

大学や  
NPOとの  
連携を検討する

役員の定年制を  
導入する

### トーク&コーヒーの楽しいひととき

有名コーヒーチェーン店でのバリスタ経験がある市職員が抽出したコーヒーが参加者にふるまわれました。熱心に語りながら、コーヒーでほっと一息。和やかな雰囲気の中、終始活発な議論が交わされた一日でした。いつもの協議会の枠を越えて、近隣のふれあいのまちづくり協議会との交流はとても有意義です。皆さんもぜひ!



神戸市では平成24年度よりソーシャルビジネスの支援を実施しており、既にソーシャルビジネスを実施している方やこれから立ち上げを検討されている方に向けて、セミナーを開催しています。このたび、「地域団体によるソーシャルビジネス・コミュニティビジネス事例」をテーマに2つの団体から講師の方をお招きして取り組みについてお話いただきます。ぜひご参加下さい。

ソーシャルビジネスとは？

ソーシャルビジネスとは社会課題の解決に向けて、自立的・継続的に提供されている事業のこと。



神戸ソーシャルビジネスセミナー

～地域団体によるソーシャルビジネス・コミュニティビジネス事例～

Program プログラム

- 1 ソーシャルビジネスについて (神戸市)
- 2 ゲストトーク (久木勝三氏、西上孔雄氏)
- 3 日本政策金融公庫の取り組みについて (日本政策金融公庫)

日時 令和元年 **8月25日** (日) 14:00～16:00  
 場所 協働と参画のプラットフォーム 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル2階  
 定員 20名 参加費 無料  
 共催 神戸市・NPO法人しゃらく・日本政策金融公庫

お申込はこちらから <https://123kobe.com/2019/06/sb-seminar2019-3/>



ゲスト紹介



**久木 勝三氏**  
 ひさきかつみ  
 緑地域活動協議会 会長  
 NPO法人緑・ふれあいの家 理事長

2011年に株式会社ユニコンの代表取締役を退任。同年8月に地縁組織や各種団体を立ち上げ、2012年12月にNPO法人緑・ふれあいの家を設立、理事長に就任。同年に、大阪市の委託事業である「児童いきいき放課後事業」を受託、他各種の事業展開を図り、地域自治活動の活性化を実施。そのほか、鶴見区地域活動協議会の副会長、大阪市民活動審議会の委員、大阪府鶴見警察協議会の会長を務める。



**西上 孔雄氏**  
 にしがみよしお  
 NPO法人すまいるセンター 代表理事  
 株式会社西上建設 代表取締役

泉北ニュータウンで地元工務店の三代目を務めるかわら、2003年にNPO法人を立ち上げ、民間による包括支援センター的な事業を開始。泉北ニュータウンの再生モデルとして民学産官の連携による空き家や空き店舗を福祉転用した国土交通省の高齢者居住等安定化推進事業や、障害者団体・自治会・商店組合が連携してスーパーを復活させる堺市の公募提案型協働推進事業など多くのまちづくり活動を実践している。

みんなの一步が未来を変える!!



神戸ソーシャルブリッジ



神戸ソーシャルブリッジ、いよいよ秋のプロジェクトが始動！参加団体・参加者募集します

神戸ソーシャルブリッジとは？

まちづくりに力を発揮する神戸市内のNPO・地域活動団体等と、企業社員、行政職員、シニア、学生など社会貢献活動を希望する多様な人材をつなぎ、地域社会の課題解決に協働して取り組むプロジェクトです。企業社員、行政職員、シニア、学生など多彩なメンバーでチームをつくり、社会課題に取り組むNPOや地域団体等を支援する新しいボランティアの形です。



秋のプロジェクト日程 (予定) 11月23日(土)～1月25日(土)

まずは説明会にお越し下さい!

神戸ソーシャルブリッジであらたな可能性にチャレンジしてみたいNPO・地域活動団体や、自分のスキルを試してみたい企業社員や行政職員の方を募集しています。

説明会日程 @神戸ソーシャルブリッジ活動拠点

8月28日(水) 19:00～20:30  
 9月8日(日) 10:00～11:30

QRコードを読み取り、ウェブページからお申し込みください。



VOICE 参加者の声



子どもの学びの場づくりに取り組む「NPO法人まなびと」にて、プレゼン資料の改訂プロジェクトに参加  
**遠見 彰貴さん** (30代男性)  
 システム会社勤務 システムエンジニア

神戸から集まったさまざまな人たちとプロジェクトに参加しました。多彩な価値観やスキルを持っている皆さんと、自身との違いが良い刺激になり、多くの気づきがありました。また、社会やまちに貢献するのは、こういう形でもいいんだと知るきっかけにもなりました。



神戸ソーシャルブリッジ 活動拠点

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル2F JR三ノ宮駅 東口徒歩3分  
 開館時間 火曜～日曜 14:00～20:30 (月、祝日、年末年始は閉館)

お問い合わせ 神戸ソーシャルキャンパスにて対応します

✉ [info@kobesocialcampus.net](mailto:info@kobesocialcampus.net)  
 ☎ 078-241-9797

自治会役員の皆さまへ

令和元年度の

地域コミュニティ基礎講座を開催します



今年度より新たに就任された自治会役員の方を主な対象として、地域コミュニティ基礎講座を開催します。この講座では、自治会運営に参考になる講義や情報交換を行います。ぜひご参加ください。

日時 令和元年8月23日(金) 9:30～12:30

場所 ふたば学舎(神戸市立地域人材支援センター)  
神戸市長田区二葉町7-1-18

定員 40名(先着順)

申し込み方法

市イベント案内・申込センター

☎078-333-3372 年中無休  
9:00～21:00

ネット申し込みは

KOBE Today

検索



前回参加者の声

講座は初めて知る内容ばかりで、自治会の役割などがよく分かった。  
(40代・女性)

グループワークで他の自治会の方と本音で話ができ、課題解決のヒントになった。(60代・男性)

申込締切 令和元年8月16日(金)

参加費  
無料

プログラム

第1部

講座「自治会の運営について」 講師:初田直哉氏

第2部

グループに分かれて意見交換

主催:神戸市自治会連絡協議会、神戸市

地域活動のお困りごと、お気軽にご相談を!

コミュニティ相談センターのご案内

コミュニティ相談センターでは、地域コミュニティの運営や活動に関するさまざまなご相談に応じています。皆さんのお越しをお待ちしています!

住所 神戸市長田区二葉町7-1-18  
ふたば学舎1階

開館時間 10:00～17:00

閉館日 毎週日・月曜日・年末年始など

お問い合わせ 078-643-2900

神戸のまちづくりポータルサイト マチカツ

神戸市内の地域活動やまちづくり講座の情報を掲載しているウェブサイトです。ぜひアクセスを!

<http://www.kobe-machikatsu.jp/>



自治会、NPO法人、まちづくり協議会等の代表者様へ

「お住まいの地域のように神戸市内地域組織基礎調査」のご協力のお願い

神戸市では、市民の知恵と力が活きる地域社会づくりに取り組んでいます。その取り組みを推進するための基礎資料として、地域の状況や課題についてのアンケートを8月～9月に予定しています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ・発行 神戸市市民参画推進局市民協働課 TEL:078-322-6492(平日8:45～17:30)